

「自立」「共生」「貢献」

福生市立福生第一中学校

福生市熊川845
電話 042 (551) 0321
FAX 042 (530) 7447



一中だより

2月号

令和6年2月1日 発行

福生一中ホームページ NEW→ <https://fussa-1j.hs.fussa.school/>

学校の日々の様子をブログにて紹介しています。



つながりのある体験的な学び

校長 金子 敏治

学習方法と学習定着率の関係についての有名な研究にラーニング・ピラミッドがあります。これは、学習者にとって能動的な学習（対話、ディスカッション、実体験、他の人に学んだことを教えるなど）になるほど学習定着率が上がるというものです。ただし、講義や読書などの受動的なインプット型の学習も能動的な学習を行うための基礎として必要不可欠なものです。



TGGでの英語体験活動の様子

本校でもこの能動的な学習を大切に、体験的な学習や協働的な学習を進めています。2学年の英語科では、授業での学習を実社会で体験する活動を連続して進めました。これまで授業で習得した学びを生かして、11月に台湾の中学生とオンラインで結び、自己紹介をし合いながら交流しました。その後、1月の校外学習（都内巡り）では、班ごとに外国人観光客に英語でインタビューする活動を行いました。さらに、1月18日には立川市のTokyo Global Gatewayにて英語体験型学習を実施しました。この施設は、英語を使いたくなるような環境やプログラム等が整備されており、世界中の人とつながることの「ワクワク」感動体験を提供してくれる場所です。一歩その施設に踏み入ると日常を離れて外国に降り立ったような空間でした。レストラン、ホテル、薬局、飛行機内など様々なブースがあり、生徒全員が順番に英語で与えられたミッションを行います。最初は英語を話すことに抵抗があった生徒も、次第に笑顔で話してみる生徒が増えていきました。終了後、施設から出てきた生徒の様子は、やっと日本語が話すことができると安心した人もいれば、引き続き英語で会話している人もいて、生徒が新たな世界を経験でき、英語でコミュニケーションをとることの関心を高めることができた貴重な体験となりました。これらの連続した体験的な学びが、今後の生徒一人一人の学びにつながりと広がりをもっていくことを期待しています。

<生徒の感想>

- ・あまり英語ができなくても、自分の知っている言葉で頑張って伝えようとする相手にも伝わったので良かった。
- ・お店で物を買う時に笑顔で真剣に話そうと挑戦した。
- ・日本の中学卒業までに習った英語だけでも外国で生きていけるかもしれない。
- ・I learned the importance of communication in English.